行財政改革アクションプラン２０２４（案）に関する県民パブリックコメント

意見の概要および県の考え方

|  | 意見の概要 | 意見に対する考え方 |
| --- | --- | --- |
| 1 | 人口減少対策をよりいっそう工夫し、効果的な施策を打ち出してほしい県の学力向上施策や生徒数激減により、県立高志中学校の創設、公立高校再編、公立小中一貫校をつくる市町もあるなど、教育改革が進んでいる。しかしながら、入学難易度の高い都市圏の大学へ進学する生徒が増えても、地元福井で働くのを躊躇う現状がある。秋田県も平均的な学力が高い県だが、人口減少率では全国トップクラスであり、悩ましく感じつつ施策を進めているのだろうと想像する。　こうした県同士の連絡会議の創設や職員交流を推進して、地方創生のいっそうの具体策を検討してほしい。 | 人口減少対策について、「第２期ふくい創生・人口減少対策戦略」において、学生の県内進学や県内就職に向けた促進策を打ち出し、実行することとしています。いただいたご意見については、今後、同戦略を改定する際に参考といたします。 |
| 2 | 高齢化による地域自治•地域コミュニティの崩壊を防ぐ施策を強力に創意立案して推進してほしい。　あと５年〜10年の間に、町内会や村落共同体がどれだけ生き残れるのか、ひじょうに危惧している。私たち住民も含めて、前例踏襲の風を排して危機感をもって地域社会の維持継続を図らなければ明日はないと感じる。また、米作りは農業の中核ではあるものの、収益は低下する一方であり、農業後継者も少ない。生産者•消費者も含めた農政論議を行える場を多く設け、農業振興の具体的手立てを立案してほしい。個人の力では農業を放棄せざるを得ない現状をなんとかしないと、衰退するばかりである。 | 県では、集落機能の維持・活性化に向けた市町施策への支援や、高齢化・人口減少等が著しい地域における複数集落の連携拡大等について、長期ビジョンに基づき推進することとしています。また、今回の行財政改革アクションプラン２０２４では、市町協働を深化し、地域の未来を支える体制づくりを進めることとしており、様々な地域課題に対し、県全体で解決できるよう努めていきます。 |
| 3 | 施策目標の方針７で、「業務削減時間　　１０，０００時間以上」とあるが、どれくらいの効果がある目標なのかをイメージしにくいので、もう少し書き方を工夫したほうが良い。 | ご意見を踏まえ、方針７の施策目標に、「職員１人あたり年間３時間以上」と追記しました。 |
| 4 | 経験者採用の拡大のところで、社会人経験者を対象とした採用枠を拡大する目的が、「人口減少下において必要数を着実に確保するため」というところに違和感がある。経験者の採用は、本来、他の組織で獲得した知見やノウハウを取り入れるところにあるのではないか。  | ご意見を踏まえ、経験者採用を拡大する目的を修正しました。 |